

部局名 地域資源創成学部

担当: (教授:熊野 稔)



テーマ 人口減少・少子高齢社会における宮崎県内自治体の持続的発展に関する協力支援・教育活用

特色ある取組

大学での街づくり関連の研究成果や教育を活かし、宮崎県や県下、市町村からの依頼に応じて、行政委員会への委員・委員長就任（兼業許可済）や助言、研究成果の配布、成果報告会等を行ってきた。また地域創造実践等のゼミ実習を通じて、街づくりワークショップなどに学生が参加して教育と地域貢献の相乗効果を図り、地元地域のサステナビリティにささやかでも貢献してきた。

都市計画等政策への自治体からの依頼に応じた協力

宮崎県都市計画審議会・専門委員会会長として宮崎県都市計画区域マスタープラン改定の支援に取り組んだ。宮崎県屋外広告物審議会会長として県内屋外広告設置の事案に取り組んだ。宮崎県住宅政策懇談会会長として、改訂版宮崎県住生活基本計画策定の支援を行った。

人口減少化のコンパクトシティ政策の具現化として国の指導で全国的に立地適正化計画が立てられている。その一環として県下5自治体の立地適正化計画策定への支援を行った。①都城市都市計画審議会土地利用専門部会委員として都城市立地適正化計画策定への協力、②宮崎市都市計画審議会委員・宮崎市立地適正化計画策定委員会・改訂委員会委員として、宮崎市立地適正化計画策定への協力、③高千穂町立地適正化計画策定委員会会長として高千穂町立地適正化計画策定への協力、④川南町立地適正化計画策定委員会会長として、川南町立地適正化計画策定への協力、⑤西都市都市計画審議会会長・西都市立地適正化計画策定委員会会長として、西都市立地適正化計画策定への協力を行った。また宮崎県景観まちづくりアドバイザーとして宮崎県第5回「美しい宮崎づくりのつどい」にて「歴史的町並みを活かしたまちづくりについて」の基調講演や助言等を行ってきた。

人口減少化の過疎地におけるチャンスを生かした持続的発展施策の提言

宮崎県日南市北郷町は、①2022年度末に東九州自動車道北郷インターチェンジと宮崎市・清武南インターチェンジが無料区間として開通、②2023年度中に、北郷道の駅が開設、③2024年度末までに公設公営で北郷温泉郷の温泉宿泊施設、新サンチェリー北郷が開設する。まさに千載一遇のホップ、ステップ、ジャンプのチャンスであり、この機を生かして商工会の依頼により、まちづくり調査研究事業専門委員に就任して、熊野ゼミの3年生の学生と一緒に教育活動の題材としても取り組み、地域資源の発掘や地元と一緒にまちづくりワークショップ開催、アンケート調査及び地域づくり提言等を行った。成果は、計画コンセプト「北郷IC、道の駅北郷及び温泉を活かした観光交流・より住みやすい街へ」として、5つの骨子「北郷温泉のさらなるブランド化と観光交流振興」「道の駅北郷の魅力ある整備と集客イベント、周辺地区の環境整備」「商工業の発展に向けた町づくり」「工業団地造成、企業誘致及び住宅地等将来の人口減対策と維持増加を見据えた施策」「北郷IC開通に伴うまちづくり」の提言を行った。



まちづくりワークショップ風景